

# 東日本大震災から5年 平成27年9月関東・東北豪雨にて被災

# 榎ノ木

第拾貳号

平成28年3月25日発行

青壮年部女性部広報

題字：大内翠峰

再び襲う  
災害特集

東日本大震災五年を経過して

禪興寺住職 梅澤徹玄

震災から早五年が経過した。津波被災地ではガレキが取り除かれ、それ以外の地域では未曾有の惨状は表面的には伺えないほどになってきている。

この間、全国、世界各地から数えきれない物心両面に亘る様々なご支援、ご協力、ボランティアを頂いたことに、改めて心より感謝申し上げます。自然や原子力の脅威の余りの凄まじさに、本当に復興できるのか？と、暗澹たる不安に苛まれた震災直後の日。一方、人間の逞しい生命力と、助け合いの精神に励まされ、素晴らしい数多くの体験や人間関係に恵まれた事に、改めて感謝申し上げます。

昨年9月11日の台風十八号による吉田川氾濫で、当吉田地区内清水・高田地区他三十数件の檀家さんや町内数多くの家屋が床上浸水になる等、再び大きな自然災害に見舞われました。

花園会本部長、課長様には直接現地視察を頂き、全国の皆様から多大な災害見舞金を寄せて頂きました。又、県内、全国の各地から多くのボランティアが来てくださいました。心より厚く御礼申し上げます。合掌

## 平成27年9月関東・東北豪雨

台風18号から変わった温帯低気圧により、仙台市泉区泉ヶ岳では総雨量が397.5mmと9月の平均降水量の二倍になり、一時間当たりの降雨量が65mmと観測地点史上最多。

大和町は、床上浸水126棟、床下浸水92棟、計218棟と農地2000畝が濁流に浸かり、町道41路線60か所が被害を受けました。

町では町内3か所に避難所を開設し、398名が避難しました。

全国より延べ1548名の災害復旧ボランティアが駆けつけ、活動されました。



橋も落ち道路も寸断！



花園会本部長・課長と支所長が協議中

## 寄稿

### 吉田川氾濫による被害に遭い

高田地区 吉川日出子

平成27年9月10日朝から降り続く雨。夜になって益々強くなり段々心細く。でも「吉田川の水は過去に前の田んぼ止まり」と家族で話しながらも心配で、手荷物の準備。家族は夫、私、娘夫婦、五歳と一歳の孫で計六人。そんな中、夜十一時に氾濫の危険ありと避難指示の発令。外は真っ暗で雨はザーザー。とりあえず車の移動、備蓄米等を高い棚へ、水は既に膝まで。区長である夫は「避難所に行かなくては」と11日午前一時に家を出る。

さて我々は幼児二人連れてどうしたら。娘は「避難所へ行きたい」と。しかし既に車は出せない状態に。自宅の二階に避難する、前の田んぼは濁流となり、ゴォーと音を立てて流れ、敷地は渦を巻きながら水位がどんどん高く。「小降りに」と祈りながら、ウトウトする。

夜が白々と明けるころ雨も止み、外を見れば水が引き始めていて、水は上がらなかったと安堵しました。

ところで避難所に向かった夫でしたが、「車が水没しやつのことで脱出し、避難所にたどりついた」との話を聞き、幼児連れて避難所に行かなくて良かった（※）、と胸をなで下ろした次第です。

この災害を受け、敷地内に流れ込んだゴミに呆然としているとき、ボランティアに助けてもらい、気持ちは前向きになりました。

最後に、大本山妙心寺花園会本部より過分なるお見舞いを頂き、有り難うございました。被災者一同心より感謝申し上げ、再建に努めていきたいと思っています。

※避難指示が発令されたら速やかに指定の避難所へ避難しましょう。

川が氾濫する前と後では状況は大きく異なります。

吉川さんは、自身の判断で自宅の二階に避難して命の危機を逃れましたが、死亡者を出した茨城県常総市や宮城県北部の大崎市の様な川の氾濫だった場合には、速やかに避難所に避難することが必要です。



床上浸水の家で茫然



ずぶ濡れの家財がごみの山に



被災者の声に耳を傾ける鮎川花園会本部長



田畑は泥流で壊滅

## 成道会、大般若祈禱のこと

仙台市 今野 範子

12月5日(土)午後1時、いつもと変わらない様子で本堂ではすでに坐禅会を始めていました。

私は袴を穿くのに手間取り、少し遅れて着座すると、若々しい副住職さんが歯切れよく、私のなれない坐禅を導いて下さり、安心して呼吸と精神を調えることができました。

間もなくいざ成道会本番。するとどうでしょう！どちらの極楽から降ってこられたのか、和尚様方がによきによきと13名も！立ち並びなさるではありませんか。

ご立派なご法衣を身に纏い、美しく剃りあげたお顔はどなたも心に輝きを秘めておられるようです。

清々しく毅然と、しかしまるで一つの置物であるかのように、自我を出さず肅々と、ご自分の役割を果たしてゆかれる様は、厳しい修行で余分なものを一切削ぎ落とした後に残った一番美しいものを、お釈迦様のお慶びに合わせてお捧げしているように見えました。

「降伏一切大魔災障成就」(こうぶくいつさいだいまさいしよつじようじゅー！)と、大音声で唱えながら、経本をカラカラと手に取るご様子は、胸のすくような勇壮な光景でした。

また、このような行事のときに、いつも拝見する若き和尚様は、本当に澄み切ったお声でお経を唱え、進行役を果たされますそのご様子、けれども微塵もないお声と不思議な節は、いつまでも心に残ります。

このような方を通して、お釈迦様



竜潭副住職が掛け軸を解説！

のお心は人々の胸に残ってゆくのだなあ、と思いました。

ご立派な威風堂々とした和尚様方も、このような様式でお釈迦様の御前に居られるときは、誠に邪気のない無邪気なお顔、佇まいをしておられ、お釈迦様のお悟りを心底寿ぐ一介の小さなお弟子さんのようです。

そして、その脇で長大な数珠を回しながらお経を唱えている我々も、また感涙にむせぶ小さなお弟子さんのようです。

私の小さな手では持て余す大きな数珠を、両脇に居られる大きな手が「よいしょ」と息を合わせながら調整してくれま



大迫力の導師と大般若転読

みんなで心ひとつに回してゆく様は、見ず知らずの人であっても同じ大地を踏み、同じ時間を共有して生きる地球上の生き物が、全て繋がりがあって助け合っているのだよ、ということをお私に教えてくれました。

皆で動かしてゆく、その一人ひとりのエネルギーが塊となって、物事を動かしてゆくのだと確信します。

これから良質で、より美しいエネルギーを発散できますように、心に願いを抱きながら、充実した時間を後にいたしました。

素敵な体験を有り難うございました。



声高らかに本堂に響くお念仏！

# ねはんえ お釈迦様の命日涅槃会に響く御詠歌と ベネズエラ音楽



涅槃図の絵解き説法

2月13日（土）涅槃会とベネズエラ音楽演奏会が、多くの檀信徒などを集め開催され、法要の祈りと、遙か南米の音楽の興奮に包まれました。  
先ずは竜潭副住職により行事前恒例となった坐禅の指導があり、参加者全員心静かに坐禅へ取り組み、呼吸から心身を調えました。  
引き続き御詠歌が朗々と奉詠されました。その後、参加者全員で齢八十歳でお亡くなりになったお釈迦様の命日を偲び、お経を唱えました。  
涅槃会の後には、吉澤陽子さんと本城久志さんが演奏する、ベネズエラハープとクワトロ（四本弦のギター）による音楽会が開催されました。  
ベネズエラ音楽は、南米スペイン語圏特有の情熱的な旋律と五拍子という特徴的なリズムで奏でられる音楽です。



演奏前にハイポーズ！

吉澤陽子さん

担当：ベネズエラハープ＆歌

岩手県宮古市出身

単身でベネズエラに5年の音楽活動

帰国後仙台を拠点にベネズエラ音楽

の活動と普及に取り組む

ユニット AHONDA（アオンダ）

CD 発売中

本城久志さん

担当：ギター クワトロ

仙台市出身

演奏会では、ベネズエラ本来の曲や、震災への鎮魂歌、日本でもよく知られたヒット曲「コーヒールンバ」や「戦場のクリスマス」のアレンジ・ヴァージョンも演奏されました。  
演奏会後には、住職がお世話になった大本山妙心寺塔頭大珠院様から贈られた京都丹波の大納言による女性部特製のお汁粉と、雑煮、甘酒を参加者全員でおいしく頂きました。



心に染みる御詠歌

# 清浄山禪興寺 花園会青壮年部・女性部会報



掛け声手拍子で会場もノリノリ！また来てけさいん！チャオ！



心と身体が踊りだす情熱のリズム！



準備に奔走する女性部員



お汁粉、雑煮、甘酒に舌鼓を打つ演者＆参加者



特製のハゼ出汁を注げば仙台雑煮の完成！



湯気立つお餅に「ドヤ顔!？」の〇〇女史

## ベネズエラの魅力

ベネズエラ ハープ奏者 吉澤陽子

ベネズエラは日本ではかなりなじみの薄い国です。

しかし中南米においては重要な国の一つ。南米の主な国をスペインから独立させたシモン・ボリーバルはベネズエラを中心として活動しました。

今でも彼の名は南米各地に地名として残っていますし、近代においては世界有数の産油国として知られています。

ベネズエラはあらゆる資源を持っているが故の無名国家です。

媚びることをせずとも、悠々自適に申し分ない暮らしができる。一言でいうと、「恵まれた環境ゆえに世界における競争力を喪失している」そんな国です。

音楽においても然り。世界的には無名な音楽ながら、そのレベルの高さ（資源）は決して他の国々に引けをとるものではありません。

ベネズエラ音楽の魅力は「多様性」です。

他のカリブ諸国同様、アフリカの黒人音楽の影響からリズム重視が第一に挙げられますが、加えてスペインのフラメンコとルーツを共にする伝統音楽、当時のヨーロッパの良家の子孫たちに受け継がれた都市音楽、またはカリブ諸国からの移民によりもたらされたお祭り音楽、と全てが混然一体となり、ベネズエラ音楽を作り出しています。

それゆえに時には未知なる不思議な調べとして、またある時は原始的な懐かしさを感じていただけるのではないかと思います。



ベネズエラ  
人口：3062 万人  
首都：カラカス  
面積：91. 6 万 km<sup>2</sup>  
(日本の面積の約 2. 4 倍)

## 今後の行事予定

- ◎ 3月26日(土)  
春彼岸境内墓地掃除
- ◎ 4月9日(土)  
団体参拝説明会(予定)
- ◎ 5月17日(火)  
第三部花園会総会於禪興寺
- ◎ 5月19日(木)  
降誕会・「花祭り」子育て水子地藏祭り・妙心寺派巡教師による法話
- ◎ 6月3・4・5(金・日)  
大本山妙心寺団体参拝
- ◎ 6月7日(火)  
中興開山大領和尚每歳忌
- ◎ 6月8日(水)  
竜潭副住職入寺式
- ◎ 6月13日(月)  
青壮年部・女性部総会
- ◎ 8月11日(木祝)  
盂蘭盆施餓鬼会
- ◎ 8月13・15日(土・月)  
盆棚経
- ◎ 8月18日(木)  
盆境内墓地清掃
- ◎ 10月 副住職結婚式

## 編集後記

「災害は忘れた頃にやってくる」  
昨年平成27年9月の豪雨災害は、東日本大震災からようやく五年を迎えようとした矢先にやってきました。

記録的豪雨により大変な被害がありました。被災された皆さまにおかれましては、連日、復旧復興にご尽力され、心身ともお疲れになったことと、心よりお見舞い申し上げます。

今回の豪雨災害の教訓は、東日本大震災から学んだ命の大切さや、先人たちの教えが、たった五年の間に忘れ去られ、風化してしまわないよう、自然が私たちに再度教えてくれたと受け止め、今後に生かしてゆかねばなりません。

広報部

部長 鶴橋初雄  
副部長 小川弘吉  
部員 佐藤 彰 早坂妙子  
浅野澄江 相澤敏晴

発行

禪興寺花園会青壮年部・女性部 広報部  
〒九八一・三六二五  
宮城県黒川郡大和町吉田字長福寺一  
電話番号 〇二二・三四五・二〇六三